

## 「今後 50 年間の経営見直し」の見直しについて

第 3 回経営審議会でお示した今後 50 年間の財政シミュレーションについて、令和 4 年度の数値を予算額から決算見込額に修正するとともに、この決算見込額を基に令和 5 年度以降の数値についても見直しを行いました。

### 1 概要

#### (1) 見直しの内容

項目		見直し内容
令和 4 年度の見込額		予算額から決算見込額に修正
その他	流域下水道維持管理負担金 " 汚泥処理負担金	電気料金高騰に伴い、 ・令和 5 年度の前年度精算還付金収入を減額修正 ・令和 5～6 年度の汚水排除量 1 m <sup>3</sup> あたりの負担金単価の見直しにより、負担金支出額を増額修正
	動力費	電気料金高騰に伴い、動力費を増額修正。 なお、今後、電気料金がどのように推移するか見通せないため、上記負担金に合わせ、令和 5～6 年度のみ増額。
	減価償却費、長期前受金戻入額	令和 4 年度の建設改良費の決算見込額をもとに再計算
	その他経費	第 3 回経営審議会で提示した資料において、営業費用の一部に算定誤りがあったため減額修正

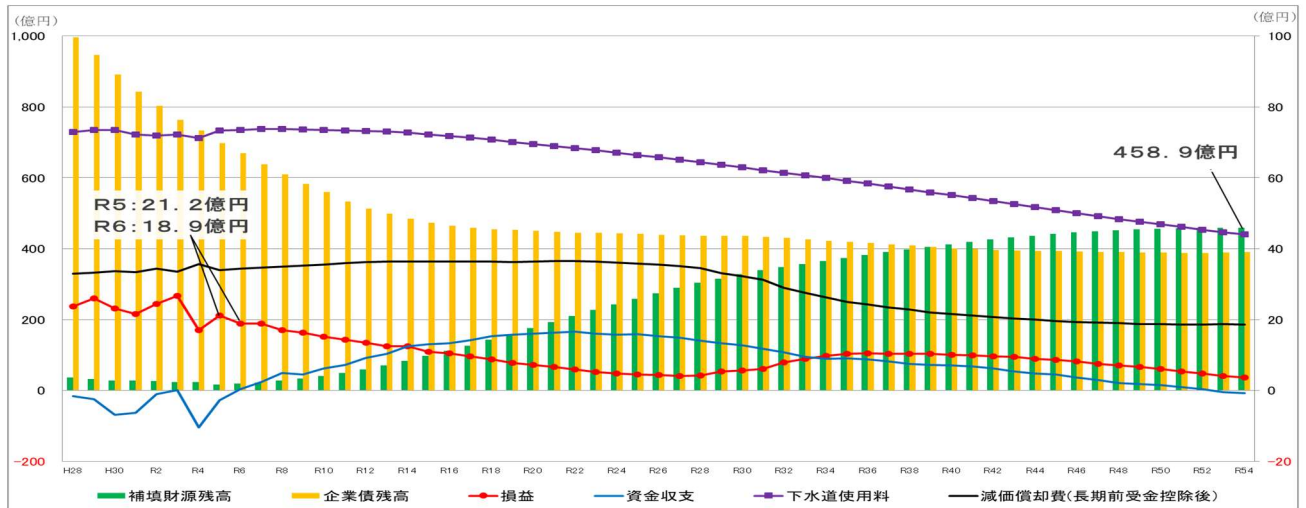
#### (2) 今後 50 年間の経営見直しへの影響について

見直し後の財政シミュレーションでも今後 50 年間は黒字を維持できる見込みで、令和 54 年度の補填財源残高や、経費回収率の傾向等にも見直し前の財政シミュレーションと大きな差異はありません。

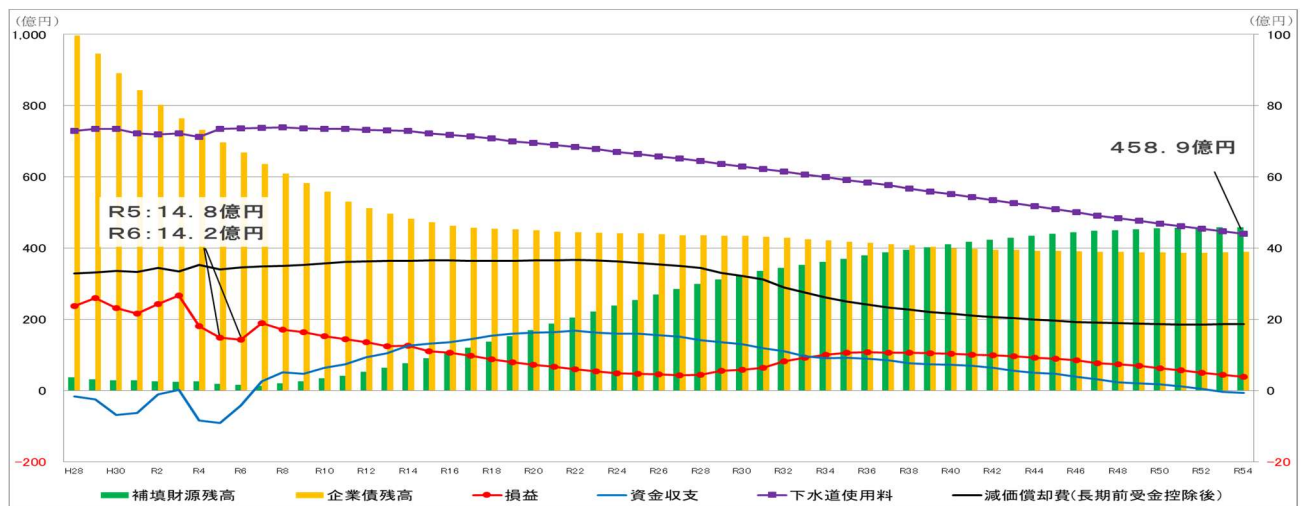
## 2 見直し前後の50年間の財政シミュレーション結果比較

### (1) 損益、補填財源残高等の推移

#### 【修正前】



#### 【修正後】



#### ■ 損益について

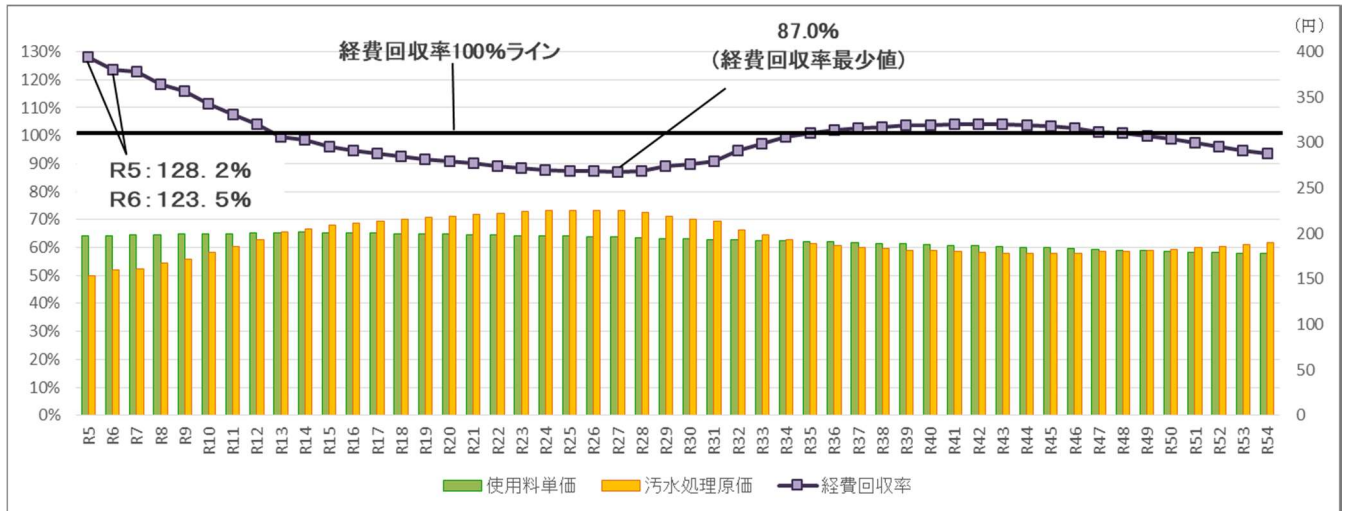
- ・ 動力費、流域下水道負担金の増額の影響で令和5年度は見直し前の21.2億円から14.8億円(▲6.4億円)に、令和6年度は18.9億円から14.2億円(▲4.7億円)に減少する見込みです。
- ・ 令和7年度以降は、決算見込や営業費用の減額を反映した結果、見直し前と同様に今後50年間は黒字を維持することができる見込みです。

#### ■ 補填財源残高について

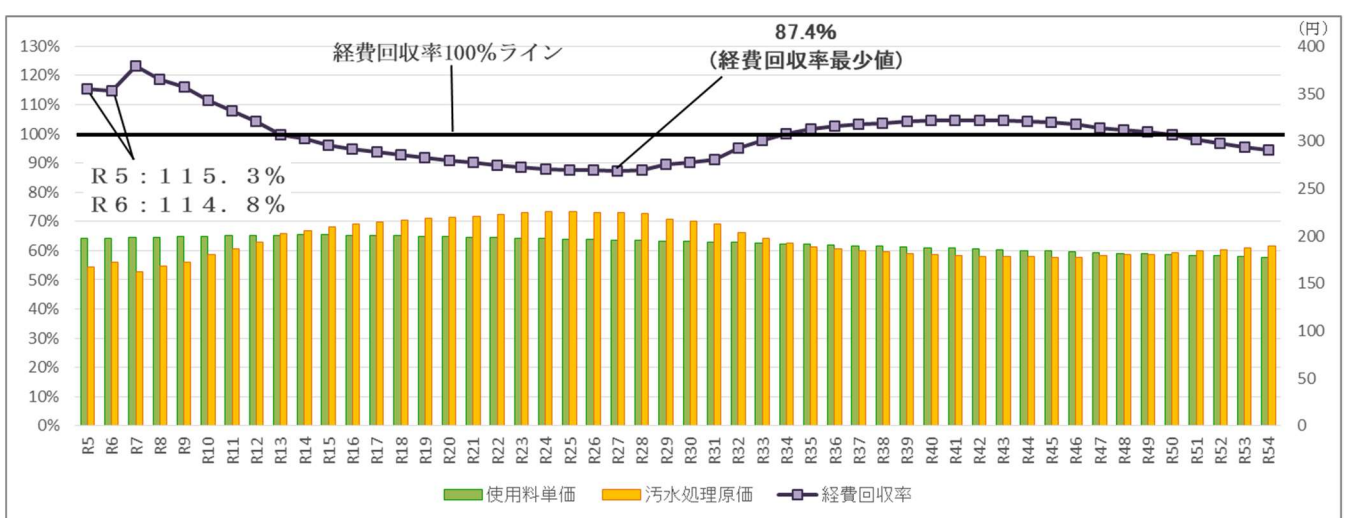
- ・ 令和6年度に増加に転じる見込みだった補填財源残高は、令和5年度、令和6年度の損益の悪化の影響により、令和7年度までは減少し、令和8年度以降に増加に転じる見込みです。
- ・ 営業費用の減額に伴い、令和54年度には見直し前とほぼ同額の458.9億円となる見込みです。

## (2) 経費回収率の推移

### 【修正前】



### 【修正後】



#### ■ 経費回収率について

- ・ 令和5年度は見直し前の128.2%から115.3%（▲12.9ポイント）、令和6年度123.5%から114.8%（▲8.7ポイント）に低下する見込みです。
- ・ 令和7年度以降は、見直し前と同様に令和13年度に100%を下回り、令和35年度に100%以上に回復する見込みです。